

基準日： 2022年4月28日

インサイト・グローバル・クレジット・ファンド

Aコース（野村SMA・EW向け） / Bコース（野村SMA・EW向け）

追加型投信/内外/債券



ファンド概要

- 設定日: 2021年8月23日
- 決算日: 毎年12月6日(休業日の場合は翌営業日)
- 信託期間: 無期限

■ 主として、世界各国の社債等(投資適格社債、ハイ・イールド社債、新興国債券(国債、社債等)、資産担保証券、ローン等)および派生商品等に投資を行い、米ドルベースでの中長期的な収益の獲得*1を目指して運用を行います。*1:米ドル以外の外貨建資産については、原則として現地通貨売り/米ドル買いの為替取引を行います。実質的な運用は、アイルランド籍外国投資信託である「BNYメロン・グローバル・クレジット・ファンド(※)」に投資し、信託財産の中長期的な成長を図ることを目指して運用を行うことを基本とします。(※)については、各コースにおいて、以下のクラスをあてはめてご覧下さい。Aコース: JPY Xヘッジクラス、Bコース: JPY Xクラス ■ AコースとBコースの2つのコースからお選びいただけます。Aコースでは、原則として対円での為替ヘッジを行うことにより、為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。Bコースでは、原則として対円での為替ヘッジを行いません。■ 主要投資対象である外国投資信託は、BNYメロン・グループ傘下の資産運用会社である「インサイト・インベストメント・マネジメント(グローバル)リミテッド(以下、インサイトという場合があります。)」が運用します。

Aコースの運用実績

1万口当たりの基準価額および純資産総額の推移



※基準価額は信託報酬控除後のものです。
※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果を約束するものではありません。

基準価額および純資産総額

基準価額	9,003 円	純資産総額	22.7 億円	(前月末比)	- 257 円
------	---------	-------	---------	--------	---------

ファンド騰落率

ファンド	1か月	3か月	6か月	1年	3年	5年	設定来
	- 2.78%	- 7.05%	- 9.45%	-	-	-	- 9.97%

※ファンドの騰落率は、課税前分配金を再投資したものと計算しています。

分配金実績(1万口当たり、課税前)

2021年12月	2022年12月	2023年12月	2024年12月	2025年12月	設定来累計
0 円	-	-	-	-	0 円

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

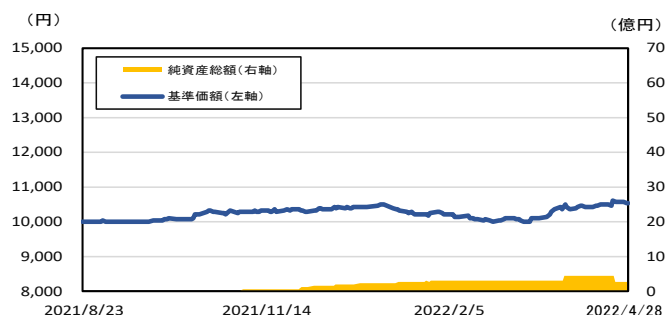
ポートフォリオの構成比

BNYメロン・グローバル・クレジット・ファンド (JPY Xヘッジクラス)	98.0%
マネーポートフォリオ・ファンド	1.1%
現金等*1	0.9%

*1 現金のほか、未収金・未払金等を含み、為替ヘッジによる評価損益等を含み、マイナスとなる場合もあります。
※小数点以下第2位を四捨五入しているため、足し合わせても100%に一致しないことがあります。

Bコースの運用実績

1万口当たりの基準価額および純資産総額の推移



※基準価額は信託報酬控除後のものです。
※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果を約束するものではありません。

基準価額および純資産総額

基準価額	10,524 円	純資産総額	27.8 億円	(前月末比)	+ 90 円
------	----------	-------	---------	--------	--------

ファンド騰落率

ファンド	1か月	3か月	6か月	1年	3年	5年	設定来
	+ 0.86%	+ 2.23%	+ 2.15%	-	-	-	+ 5.24%

※ファンドの騰落率は、課税前分配金を再投資したものと計算しています。

分配金実績(1万口当たり、課税前)

2021年12月	2022年12月	2023年12月	2024年12月	2025年12月	設定来累計
0 円	-	-	-	-	0 円

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

ポートフォリオの構成比

BNYメロン・グローバル・クレジット・ファンド (JPY Xクラス)	98.0%
マネーポートフォリオ・ファンド	0.9%
現金等*1	1.1%

*1 現金のほか、未収金・未払金等を含み、マイナスとなる場合もあります。
※小数点以下第2位を四捨五入しているため、足し合わせても100%に一致しないことがあります。

●当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的にBNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社が作成したものです。●当資料に記載の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。●ファンドは、国内外の投資信託証券を主要投資対象としていますので、投資する投資信託証券の基準価額の変動により、当ファンドの基準価額は大きく変動することがあり、元本を割り込むことがあります。●当ファンドは、預金保険または保険契約者保護機構の対象ではありません。●ファンドに生じた利益または損失は、すべて受益者に帰属します。●お申し込みにあたっては、販売会社より投資信託説明書(交付目録見書)をお渡しますので、必ず内容をご確認のうえ、お客様ご自身でご判断下さい。

設定・運用は

BNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社

金融商品取引業者: 関東財務局長(金商)第406号

[加入協会]一般社団法人 投資信託協会 / 一般社団法人 日本投資顧問業協会 / 一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

基準日： 2022年4月28日

インサイト・グローバル・クレジット・ファンド

Aコース（野村SMA・EW向け） / Bコース（野村SMA・EW向け）

追加型投信/内外/債券



BNYメロン・グローバル・クレジット・ファンド(米ドル建て)の資産内容と構成比上位10銘柄

資産内容

ポートフォリオ特性値	
平均格付け	A
平均最終利回り	3.7%
平均デュレーション	6.5年
組入銘柄数	223銘柄

※平均格付けとは、基準日時点で当ファンドが保有している有価証券に係る信用格付けを加重平均したものであり、当該ファンドに係る信用格付けではありません。

※平均最終利回りとは、米ドル以外の通貨売り/米ドル買いの為替取引後の利回りです。

国・地域別構成比	
米国	38.5%
英国	13.0%
ドイツ	5.6%
日本	5.2%
オーストラリア	4.3%
その他	33.3%
合計	100.0%

資産別構成比	
投資適格社債	63.4%
(ユーロ建)	27.9%
(米ドル建)	30.3%
(英ポンド建)	5.3%
先進国ソブリン債	7.3%
ハイールド社債	5.6%
ABS	8.0%
新興国債券	6.4%
現金・その他	9.2%
合計	100.0%

格付別構成比	
AAA	9.8%
AA	6.9%
A	26.3%
BBB	44.7%
BB以下	6.8%
現金等	2.8%
その他	2.8%
合計	100.0%

通貨別構成比	
米ドル	46.9%
ユーロ	37.5%
英ポンド	12.2%
その他	3.4%
合計	100.0%

※国・地域別構成比、通貨別構成比は、現金・現金同等証券等を除く債券部分を100%として計算した値です。

※格付別構成比は現物債券に加えて「現金等」や「その他」の資産を含めた数値です。「その他」にはCDS、為替予約、通貨オプション、先物等のポジションを含むため、マイナスになる場合があります。

※資産別構成比は現物債券に加えて「現金・その他」を含めた数値です。「その他」にはCDS、金利スワップ、先物等のポジションを含みます。

※格付けはS&P、ムーディーズ、その他の有力格付け機関の平均格付けを採用し、S&P表記法で記載しています。

※各種構成比の数値は、小数点以下第2位を四捨五入しており、合計値が100%にならないことがあります。

※本資料に記載の運用実績に関する図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

構成比上位10銘柄

銘柄名	資産	国・地域名	構成比
US TSY 0.75% 05/31/26	先進国ソブリン債	米国	2.2%
Canadian 3.6% 04/07/32	投資適格社債(米ドル建)	カナダ	2.1%
US TS 1.125% 05/15/40	先進国ソブリン債	米国	1.6%
McDonald' 0.625% 01/29/24	投資適格社債(ユーロ建)	米国	1.3%
CHUBB INA 0.3% 12/15/24	投資適格社債(ユーロ建)	米国	1.3%
Danske Ba VAR 11/10/24	投資適格社債(ユーロ建)	デンマーク	1.2%
Leasys Sp 0% 07/22/24	投資適格社債(ユーロ建)	イタリア	1.2%
DANAHER C 1.7% 03/30/24	投資適格社債(ユーロ建)	米国	1.2%
Fidelity 1.1% 07/15/24	投資適格社債(ユーロ建)	米国	1.2%
Goldman S 0.75% 03/23/32	投資適格社債(ユーロ建)	米国	1.2%

※構成比は、現金・現金同等証券等を除く債券部分を100%として計算した値です。

●当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的にBNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社が作成したものです。●当資料に記載の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。●ファンドは、国内外の投資信託証券を主要投資対象としていますので、投資する投資信託証券の基準価額の変動により、当ファンドの基準価額は大きく変動することがあり、元本を割り込むことがあります。●当ファンドは、預金保険または保険契約者保護機構の対象ではありません。●ファンドに生じた利益または損失は、すべて受益者に帰属します。●お申し込みにあたっては、販売会社より投資信託説明書(交付目録見書)をお渡しますので、必ず内容をご確認のうえ、お客様ご自身でご判断下さい。

インサイト・グローバル・クレジット・ファンド

Aコース（野村SMA・EW向け） / Bコース（野村SMA・EW向け）

追加型投信/内外/債券



コメント

運用状況

純資産価格の動向

当月の投資対象ファンドは社債の上乗せ金利（クレジット・スプレッド）が拡大したことに加え、国債金利の大幅な上昇からマイナスのリターンとなりました。Aコースでは、為替相場変動の影響は、為替ヘッジ効果により限定的でした。一方、Bコースでは、円安が基準価額に対してプラスに影響し、プラスのリターンとなりました。

米ドル・円相場の推移

当月、米国金融政策当局者が積極的な利上げ姿勢を示したことなどから米国長期金利が上昇する一方で、日銀は4月下旬に開催された金融政策決定会合において大規模な金融緩和策の維持を決定し、また長期金利の上昇を抑制するための指値オペを毎営業日実施することを決めるなど、日米の金融政策の違いが意識される中で、米ドルは先月に続き対円で上昇しました。

市場動向

米国国債市場は、大幅な利上げに前向きな米連邦準備理事会（FRB）高官の発言や消費の底堅さを示す米経済指標を受けて下落しました。欧州国債市場でも、FRBの金融引き締め観測が波及し軟調な展開が続く中、欧州中央銀行（ECB）による金融政策正常化の前倒し観測が広がったことで、売り圧力の強い状況が続きました。結局、米10年国債利回りは2.82%（前月末比+0.48%）、ドイツ10年国債利回りは0.90%（同+0.35%）で月末の取引を終了しました。この状況下、グローバルの社債市場は、インフレ高進が根強く続く中、主要先進国の国債市場が軟調に推移したことや、中国経済の減速懸念、ウクライナ情勢などを受けてクレジット・スプレッドが拡大したため、総じて軟調なパフォーマンスとなりました。資産別では、投資家のリスク選好が後退する中、投資適格社債がハイイールド社債をアウトパフォーマンスしました。

運用方針

ロシアのウクライナ侵攻とそれに対する経済制裁の影響から世界的な物価上昇や経済減速懸念が強まっています。また、新型コロナウイルスの感染封じ込めを図る中国では人の移動を厳しく制限する「ゼロコロナ規制」が敷かれており、世界的な供給不安の拡大を通じて経済への影響が出始めています。米国では、引き続き労働市場が非常に逼迫した状況にあることから、FRBは今後の政策金利の引き上げや金融引き締め政策の正当化が可能と考えている模様です。この状況下、主要国市場の金利が上昇しやすい環境にあると考え、ファンドでは参考指数対比で金利（デュレーション）リスクを控えめとしています。また、変動利付債券の投資比率を高め、今後の金利上昇局面に一部対応しています。クレジット（社債）では、直近の価格下落を受けて割高感が若干解消されましたが、長期的な水準からは依然としてリスクを積み増すには割高な局面にあると判断しています。また、ウクライナ情勢やインフレ懸念、金融政策を巡って不透明感が高まっていることなどからポートフォリオのクレジット全体のリスクは概ね中立とし、相対的なバリュエーション（割安/割高度合い）の観点からの個別銘柄選択に注力する方針です。市場配分では、各国の経済回復の状況及び中銀の金融政策の違いなどから、引き続き収益機会が存在すると考えます。今後、グローバル経済は低成長で信用懸念を伴う局面を迎えると予想し、リラティブバリュエーションの観点からハイイールド債券に対し投資適格債券をオーバーウェイトする方針です。エマージング市場については足元リスクが高まっているため、一旦投資を抑制する方針です。国別・地域別の観点では、ウクライナ情勢などを受けて欧州のハイイールドを控えめとする一方、景気減速が懸念される局面においてクレジットの質を重視し、米国の投資適格社債を好みます。業種配分では、ディフェンシブな非景気循環セクターの価格は適正な水準にあると判断し、景気循環セクターなどコロナ危機で打撃を受けたセクター（特に小売りセクター）の回復に着目しています。足元のオーバーウェイト・セクターは不動産や保険の劣後債、アンダーウェイト・セクターは公益、ヘルスケアなどです。銘柄選択では、バランスシートの堅固な企業、流動性を多く保有する企業に投資妙味があるとみています。また、コロナ危機による格下げを経て景気回復に伴い投資適格級への格上げが見込まれる企業にも注目します。インサイト独自の運用プロセスやリスク管理手法を活用して、マイナスのリターンを極力抑制した魅力あるグローバル社債のリターンのご提供を目指します。

●当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的にBNY Mellon・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社が作成したものです。●当資料に記載の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。●ファンドは、国内外の投資信託証券を主要投資対象としていますので、投資する投資信託証券の基準価額の変動により、当ファンドの基準価額は大きく変動することがあり、元本を割り込むことがあります。●当ファンドは、預金保険または保険契約者保護機構の対象ではありません。●ファンドに生じた利益または損失は、すべて受益者に帰属します。●お申し込みにあたっては、販売会社より投資信託説明書（交付目録見書）をお渡しますので、必ず内容をご確認のうえ、お客様ご自身でご判断下さい。

インサイト・グローバル・クレジット・ファンド

Aコース（野村SMA・EW向け） / Bコース（野村SMA・EW向け）

追加型投信/内外/債券



投資リスク

基準価額の変動要因（主な投資リスク）

当ファンドは、国内外の投資信託証券を主要投資対象としていますので、投資する投資信託証券の基準価額の変動により、当ファンドの基準価額は大きく変動することがあります。

当ファンドは、元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により解約・償還金額が投資元本を下回り、損失を被る可能性があります。運用により信託財産に生じた利益または損失は、すべて受益者に帰属します。当ファンドは、預貯金とは異なります。預金保険または保険契約者保護機構の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。

以下の事項は、投資対象ファンドのリスクも含まれます。

価格変動リスク	投資信託証券を通じて投資を行う債券等の価格動向は、国内および国際的な政治・経済情勢の影響を受けます。そのため、当ファンドの投資成果は、組入れ投資信託の価格変動があった場合、元本欠損を含む重大な損失が生じる場合があります。
金利変動リスク	債券等は、市場金利の変動により価格が変動します。一般に金利低下時には価格が上昇し、逆に金利上昇時には価格が下落する傾向があります。ただし、その価格変動は、残存期間・発行の条件等により異なります。
信用リスク	債券等の価格は、発行体の信用状況によっても変動します。発行体に経営不安、デフォルト（利払い・元本返済の不履行または遅延等）が生じた場合、またはそれらが予想される場合には、債券等の価格が下落するリスクがあります。
カントリー・リスク	新興国に投資する場合、投資対象国における非常事態（金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資金凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争など）などにより、運用上予期しない制約を受ける可能性があります。また、情報の開示などの基準が先進国とは異なることから、投資判断に際して正確な情報を十分に確保できない場合があります。加えて、税制においても先進国と異なる場合があり、一方的に税制が変更されることもあります。以上のような要因は、ファンドの価値を大幅に変動または下落させる可能性があります。
デリバティブ取引のリスク	当ファンドの投資対象ファンドは、有価証券および金利関連のデリバティブに投資することがあります。デリバティブの運用には、ヘッジする商品とヘッジされるべき資産との間の相関性や流動性を欠く可能性、証拠金を積むことによるリスク等様々なリスクが伴います。実際の価格変動が見通しと異なった場合に、ファンドが損失を被るリスクを伴います。
為替変動リスク	為替変動リスクは、外国為替相場の変動により外貨建資産の価額が変動するリスクのことをいいます。 [Aコース] 主要投資対象である外国投資信託証券において、外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行うことにより、為替変動リスクの低減を図ることを基本としますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。また、ヘッジコストの分だけ収益が低下することがあります。 [Bコース] 主要投資対象である外国投資信託証券において、外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受け、損失が生じることがあります。外貨建資産に対して円高になった場合にはファンドの基準価額が値下がりする要因となります。
流動性リスク	流動性リスクは、有価証券等を売却あるいは購入しようとする際に、買い需要がなく希望する時期に希望する価格で売却することが不可能となることあるいは売り供給がなく希望する時期に希望する価格で購入することが不可能となること等のリスクのことをいいます。流動性リスクが小さい資産とは、注文執行後、希望価格で売却可能な資産のことをいいます。市場規模や取引量が小さい市場に投資する場合、また市場環境の急変等があった場合、流動性の状況によって期待される価格で売買できないことがあり基準価額の変動要因となります。

※基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

●当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的にBNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社が作成したものです。●当資料に記載の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。●ファンドは、国内外の投資信託証券を主要投資対象としていますので、投資する投資信託証券の基準価額の変動により、当ファンドの基準価額は大きく変動することがあり、元本を割り込むことがあります。●当ファンドは、預金保険または保険契約者保護機構の対象ではありません。●ファンドに生じた利益または損失は、すべて受益者に帰属します。●お申し込みにあたっては、販売会社より投資信託説明書（交付目録見書）をお渡しますので、必ず内容をご確認のうえ、お客様ご自身でご判断下さい。

基準日： 2022年4月28日

インサイト・グローバル・クレジット・ファンド

Aコース（野村SMA・EW向け） / Bコース（野村SMA・EW向け）

追加型投信/内外/債券



投資リスク

その他の留意点

クーリング・オフ	当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
流動性リスクにかかる留意点	当ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要がある場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響をおよぼす可能性や、換金のお申込みの受付が中止となる可能性、すでに受付けた換金のお申込みの受付が取り消しとなる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性があります。
収益分配金にかかる留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 収益分配金は、計算期間中に発生した運用収益（経費控除後の利子・配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。したがって、収益分配金の水準は、必ずしも計算期間中におけるファンドの収益率を示すものではありません。 ・ 受益者のファンドの購入価額によっては、収益分配金の全額または一部が、実質的には元本の一部払い戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがかさった場合も同様です。 ・ 収益分配金は、ファンドの純資産から支払われますので、収益分配金の支払後の純資産は減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。計算期間中の運用収益以上に収益分配金の支払を行う場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比較して下落することとなります。

ファンドの費用

投資家が直接的に負担する費用

購入時手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

投資家が信託財産で間接的に負担する費用

当該ファンドの運用管理費用（信託報酬）	信託財産の日々の純資産総額 × 年率0.3575% (税抜 0.325%) 運用管理費用（信託報酬）は、毎計算期間の最初の6か月の終了日および毎計算期末または信託終了のとき、信託財産中から支払われますが、日々費用として計上されており、日々の基準価額は信託報酬控除後となります。 運用管理費用（信託報酬）の配分は、以下のとおりです。	
	年率0.3575% (税抜 0.325%)	《当該運用管理費用を対価とする役務の内容》
（委託会社）	年率0.275% (税抜)	信託財産の運用指図、法定開示書類の作成、基準価額の算出等
（販売会社）	年率0.030% (税抜)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（受託会社）	年率0.020% (税抜)	信託財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
投資対象とする投資信託証券の管理報酬等	<ul style="list-style-type: none"> ・ BNYメロン・グローバル・クレジット・ファンド (JPY Xヘッジクラス) / (JPY Xクラス) <ul style="list-style-type: none"> ……信託財産に属する当該各ファンドの日々の純資産総額 × 年率0.325%程度 ・ マネーポートフォリオ・ファンド (適格機関投資家専用) <ul style="list-style-type: none"> ……信託財産に属する当該ファンドの日々の純資産総額 × 年率0.033% (税抜0.03%) ~ 0.165% (税抜0.15%) 	
実質的な負担	年率0.6825%程度 (税込 概算) ※実際の実質的な負担は、投資信託証券の組入状況等に応じて変動します。	
その他費用・手数料	監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用、目論見書・運用報告書等法定開示書類の印刷、交付および提出にかかる費用、その他の管理、運営にかかる費用、組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料等が、信託財産より支払われます。 (注)この他に、投資対象とする投資信託証券においても、上記費用に類する費用がかかります。 ◆その他費用・手数料については、資産規模および運用状況等により変動しますので、料率、上限額等を表示することができません。	

※上記費用の総額につきましては、投資家の皆様の保有される期間等により異なりますので、表示することができません。

●当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的にBNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社が作成したものです。●当資料に記載の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。●ファンドは、国内外の投資信託証券を主要投資対象としておりますので、投資する投資信託証券の基準価額の変動により、当ファンドの基準価額は大きく変動することがあり、元本を割り込むことがあります。●当ファンドは、預金保険または保険契約者保護機構の対象ではありません。●ファンドに生じた利益または損失は、すべて受益者に帰属します。●お申し込みにあたっては、販売会社より投資信託説明書（交付目論見書）をお渡しますので、必ず内容をご確認のうえ、お客様ご自身でご判断下さい。

基準日： 2022年4月28日

インサイト・グローバル・クレジット・ファンド

Aコース（野村SMA・EW向け） / Bコース（野村SMA・EW向け）

追加型投信/内外/債券



委託会社その他の関係法人の概要

委託会社	BNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社（信託財産の運用指図等）
受託会社	三菱UFJ信託銀行株式会社（ファンドの保管・管理業務等）
販売会社	野村証券株式会社（ファンドの募集・販売の取扱い等）

お申込み、投資信託説明書（交付目論見書）のご請求は、以下の販売会社へお申し出下さい。

金融商品取引業者名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
野村証券株式会社 金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第142号	○	○	○	○

●当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的にBNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社が作成したものです。●当資料に記載の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。●ファンドは、国内外の投資信託証券を主要投資対象としていますので、投資する投資信託証券の基準価額の変動により、当ファンドの基準価額は大きく変動することがあり、元本を割り込むことがあります。●当ファンドは、預金保険または保険契約者保護機構の対象ではありません。●ファンドに生じた利益または損失は、すべて受益者に帰属します。●お申し込みにあたっては、販売会社より投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので、必ず内容をご確認のうえ、お客様ご自身でご判断下さい。

設定・運用は

BNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社

金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第406号

[加入協会]一般社団法人 投資信託協会／一般社団法人 日本投資顧問業協会／一般社団法人 第二種金融商品取引業協会